

最終処分場の先進地視察の参加者を募集します。

県と町では、最終処分場の先進地視察を実施しています。

対象は、那珂川町に在住の皆さん、または、那珂川町に住所を有するグループ、団体です。

今年度も多くの住民の皆さんに参加をいただきました。ありがとうございました。

引き続き、平成23年度も実施しますので、是非、ご自分の目で処分場や周辺の状況をお確かめください。

参加をご希望の方や団体等は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

視察予定地

埼玉県環境整備センター

(埼玉県寄居町)



緑地公園(跡地整備)



埋立地(埋立中)

- 埼玉県の直営による管理型最終処分場です。
- 平成元年2月から埋立を開始しており、既に埋立が完了した場所の一部は緑地公園として整備されています。
- 敷地内には循環型社会の構築を目指した民間のリサイクル施設「彩の国資源循環工場」が立地しています。

エコフロンティアかさま

(茨城県笠間市)



展示室



処分場全景

- 財団法人茨城県環境保全事業団が設置した管理型最終処分場です。
- 平成17年8月から埋立を開始しており、最終処分場のほか熔融処理施設も設置しています。
- 環境学習施設(ごみや地球環境問題を紹介する展示室など)が整備されています。

お問い合わせ先

- 栃木県 環境森林部 馬頭処分場整備室 TEL.028-623-3227 FAX.028-623-3182
e-mail : bato@pref.tochigi.lg.jp
- 那珂川分室 TEL.0287-92-1411 FAX.0287-92-1416
- 那珂川町 環境総合推進室 TEL.0287-92-1110

発行

- 栃木県 環境森林部 馬頭処分場整備室 〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 TEL.028-623-3227
【栃木県ホームページ】 <http://www.pref.tochigi.lg.jp/> 【 → <らし・環境 → 県営処分場 】

(平成23年2月発行)



Green Life
グリーン・ライフ
～快適で安全な暮らしのために～

第 23 号

なかがわ



那珂川町議会が処分場建設と地域振興の促進を決議

那珂川町の新たな動き ～町、議会、和見行政区が一体となり建設を促進～

町議会の動き

昨年12月の定例会において、処分場建設と地域振興の促進について決議され、町議会の意志が表明されました。

「県営最終処分場建設を前提とする和見行政区の地域振興に関する陳情書」を採択

・和見行政区が実施したアンケート結果をもとに、町議会に提出した陳情書が採択されました。

「県営最終処分場建設及び地域振興の促進に関する決議」を可決

・処分場の建設促進と不法投棄物の早期撤去に向け、県と町のなお一層の努力を求めるとともに、議会としても建設を促進する。

・県の支援による地域振興と「環境と共生するまちづくり」の実現に向けた取り組みを促進する。

和見行政区の動き

処分場建設を前提とする地域振興に関する協議の場として、「和見地域振興推進協議会」が設置され、具体的な地域振興策の検討が始まりました。

知事との面談

こうした動きの中、大金町長、川上議長をはじめ議会の皆さん、和見行政区の代表者の皆さんが県庁で、知事と面談し、処分場建設促進に関する決議の報告や地域振興への支援について要望を行いました。

これに対し、知事から、次のような発言がありました。

- ・町議会では、和見行政区の陳情の採択、処分場の建設促進に関する決議など、明確に意志表明いただき、大変心強く感じている。
- ・和見行政区では、処分場建設を前提とする地域振興に関する検討が始まるなど、処分場への理解をいただき、深く感謝している。
- ・県としては、これを機に、町との信頼・協力関係を一層強固なものとし、全国のモデルとなる安全で安心な処分場の早期完成と不法投棄物の早期撤去に向け、全力を尽くしていく。
- ・また、地域振興策への支援については、町や地元の皆さんの要望を伺いながら、基本協定に基づき、最大限の支援に努めていく。



知事との面談風景

前号に続き、皆さまから寄せられたご質問にお答えします。

Q1 処分場ができると那珂川町は、「ゴミの町」になってしまうのでしょうか？

A 最終処分場の先進地視察で訪問している市町村においても、処分場が設置されたことにより「ゴミの町」になったという事実は全くありません。

Q2 茨城県の公共関与の処分場では、オープンして1年で遮水シートが破れ、有害物質が漏れたというのは本当ですか？

A 県で改めて確認したところ、開業から現在まで遮水シートの破損や有害物質の流出はなく、漏水検知システムも正常に作動しているとのことでした。

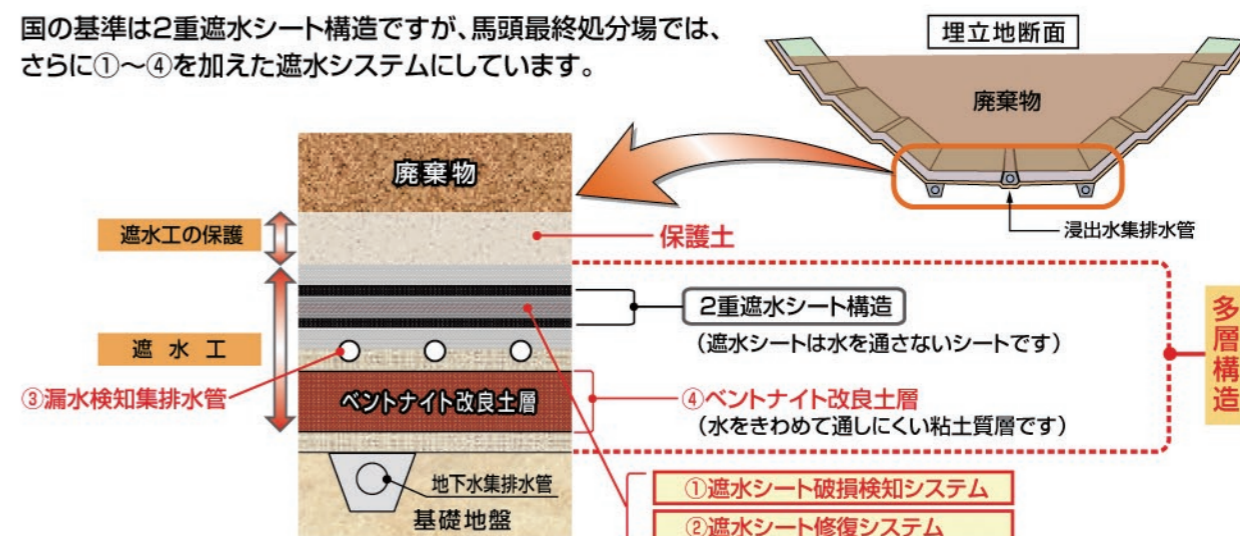
Q3 馬頭最終処分場が設置される備中沢の下流には、町の上水道水源があるので不安だが？

A 馬頭最終処分場では、地下水への影響が生じないように、多層の遮水構造を採用するなど万全の対策を講じ、安全を確保します。

なお、那珂川左岸の北向田地区に5か所の上水道水源がありますが、県の調査の結果では、この上水道の地下水と備中沢の地下水とは別の地下水と判断しております。

馬頭最終処分場の遮水システム

国の基準は2重遮水シート構造ですが、馬頭最終処分場では、さらに①～④を加えた遮水システムにしています。



(分かりやすく簡略化しています)